

介護福祉学科

昨今の少子高齢化の加速的進行、核家族化及び単独世帯、高齢者世帯の増加、地域共同体の変容などの社会構造の変化に伴い、多くの社会問題が生じ、とりわけ介護問題が国民的課題としてクローズアップされており、今や4人に1人が65歳以上という超高齢社会を迎えています。このような状況を受け、介護福祉士養成教育の見直しが行われ、平成21年度から新しいカリキュラムとなり、さらには平成28年度から「医療的ケア」の追加科目と「国家試験受験」が必須となりました。この大きな転換期のなかでは、尊厳と生きがいをもってその人らしい自立した生活が送れるような社会の構築が求められてきており、介護福祉士の社会的責務は、ますます大きくなっています。

本学科においては、平成5年に全国の大学・短大に先駆けて「介護福祉学科」を新設し、実務に従事する有能な介護福祉士を多数輩出するとともに、介護福祉学の確立に努め、さまざまな研修を企画して介護福祉の質を高める社会への貢献を行ってきています。